



# 子宮頸がん検診についての 区市町村の問い合わせ先

※お住まいの地域によって、がん検診の対象年齢や実施時期などが異なります。詳しくは、下記のお住まいの区市町村のがん検診担当部署にお問い合わせください。

区市町村担当部署	電話番号
千代田区 保健福祉部健康推進課	03-5211-8171
中央区 福祉保健部管理課	03-3546-5397
港区 みなと保健所健康推進課	03-6400-0083
新宿区 健康部健康づくり課	03-5273-4207
文京区 保健衛生部健康推進課	03-5803-1229
台東区 健康部保健サービス課	03-3847-9481
墨田区 福祉保健部保健衛生担当 保健計画課	03-5608-8514
江東区 健康部健康推進課	03-3647-9487
品川区 健康推進部健康課	03-5742-6743
目黒区 健康福祉部健康推進課	03-5722-9589
大田区 大田区保健所健康づくり課	03-5744-1265
世田谷区 世田谷保健所健康推進課	03-5432-2443
渋谷区 健康推進部地域保健課	03-3463-2412
中野区 保健所保健予防分野	03-6304-8091
杉並区 杉並保健所健康推進課	03-3391-1015
豊島区 保健福祉部地域保健課	03-3987-4660
北区 健康福祉部健康推進課	03-3908-9016
荒川区 健康部保健予防課 (がん予防・健康づくりセンター内)	03-3806-0321
板橋区 健康生きがい部健康推進課	03-3579-2312
練馬区 健康部健康推進課	03-5984-4669
足立区 衛生部衛生管理課	03-3880-5121
葛飾区 健康部健康づくり課	03-3602-1268
江戸川区 健康部健康推進課	03-5661-2463
八王子市 医療保険部成人健診課	042-620-7428
立川市 福祉保健部健康推進課	042-527-3272
武蔵野市 健康福祉部健康課	0422-51-0700
三鷹市 健康福祉部健康推進課	0422-46-3254
青梅市 健康福祉部健康課	0428-23-2191
府中市 福祉保健部健康推進課	042-368-6511
昭島市 保健福祉部健康課	042-544-5126
調布市 福祉健康部健康推進課	042-441-6100
町田市 保健所健康推進課	042-725-5178
小金井市 福祉保健部健康課	042-321-1240
小平市 健康福祉部健康推進課	042-346-3700
日野市 健康福祉部健康課	042-581-4111

## 区市町村担当部署

## 電話番号

東村山市 健康福祉部健康増進課	042-393-5111
国分寺市 福祉保健部健康推進課	042-321-1801
国立市 健康福祉部健康増進課	042-572-6111
福生市 福祉保健部健康課	042-552-0061
狛江市 福祉保健部健康推進課	03-3488-1181
東大和市 福祉部健康課	042-565-5211
清瀬市 健康福祉部健康推進課	042-497-2075
東久留米市 福祉保健部健康課	042-477-0013
武蔵村山市 健康福祉部健康推進課	042-564-5421
多摩市 健康福祉部健康推進課	042-376-9111
稲城市 福祉部健康課	042-378-3421
羽村市 福祉健康部健康課	042-555-1111
あきる野市 健康福祉部健康課	042-558-1183
西東京市 健康福祉部健康課	042-438-4021
瑞穂町 福祉部健康課	042-557-5072
日の出町 いきいき健康課	042-597-0511(内502)
檜原村 福祉けんこう課	042-598-3121
奥多摩町 福祉保健課	0428-83-2777
大島町 福祉けんこう課	04992-2-1471
利島村 住民課	04992-9-0011
新島村 さわやか健康センター	04992-5-1856
神津島村 保健医療課保健センター	04992-8-0010
三宅村 村民生活課	04994-5-0902
御蔵島村 総務課	04994-8-2121
八丈町 福祉健康課	04996-2-5570
青ヶ島村 総務課	04996-9-0111
小笠原村 村民課	04998-2-3939

※平成28年11月現在

## 子宮頸がん検診の詳細、区市町村の 問い合わせ先

受けよう!がん検診

検索

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kensui/gan/>

平成29年2月発行

編集・発行 東京都福祉保健局保健政策部  
健康推進課成人保健担当  
新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話 03(5320) 4363  
登録番号 (28) 328



R100

古紙/ハルバ配合率100%再生紙を使用しています

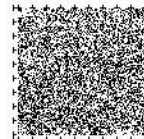
早めの受診が大切です!

# 子宮頸がん検診を 受けましょう!

2年に1回、20歳から  
受けられます



東京都がん検診  
啓発キャラクター  
「モシカモくん」



このマークは目の不自由な方のための「音声コード」です。





## 子宮頸がんとは？

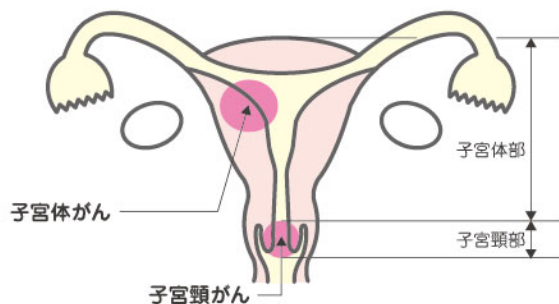


子宮がんは、主にがんができる場所によって、子宮頸がんと子宮体がんの2種類があります。

このうち、子宮頸がんとは、子宮の入口近くにあるがんです。

子宮頸がんになる人は、20歳代後半から増加し、30歳代後半～40歳代が多くなります。

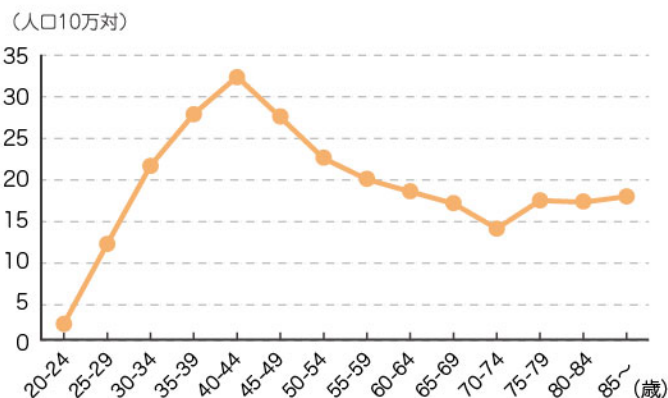
初期の段階では、ほとんどが無症状のため、検診による早期発見が大切です。



### ※子宮体がん

子宮の奥にできるがんです。子宮体がんになる人は、50歳代後半が最も多くなります。初期の段階で出血が認められることが多く、不正出血での発見が約90%といわれています。症状があれば、すぐに婦人科医療機関を受診してください。

### 子宮頸がんになった人の割合(2012年・全国)



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

## 子宮頸がん検診とは？



子宮頸がん検診は、子宮頸がんを早期発見することを目的とし、死亡率を減らすことが証明されている検診です。

### 検診の対象年齢と受診間隔

- 子宮頸がん検診は、20歳から対象となります。
- 2年に一度、定期的に受診してください。

子宮頸がんは、検診により早期に発見できれば、治療負担も軽く、妊娠や出産も可能です。

### 検診の内容

- 問診 ●視診 ●内診
- 細胞診

専用のブラシを用いて子宮頸部の細胞をこすって採取し、顕微鏡で調べます。

### 検診が受けられる場所

- お住まいの区市町村が実施する住民検診  
(詳しくは、裏面の担当部署にお問い合わせください。)
- 職場での検診  
(実施の有無については、職場にご確認ください。)
- 人間ドックなど

### 気になる症状がある場合には



次のような症状に気付いたときは、検診を待たずにすぐに婦人科医療機関を受診してください。

- ・不正出血(月経以外の出血や閉経後の出血など)
- ・茶褐色～黒褐色のおりものが増加

## 子宮頸がんヒトパピローマウイルス



子宮頸がんは、ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染が原因となって発生することがわかっています。HPVは100種類以上あり、このうち約15種類が子宮頸がんの原因となると言われています。



### HPVは、どうやって感染するの??

HPVは主に性交渉により感染します。

女性の多くが一生涯のうち一度は感染するという、ごくありふれたウイルスです。感染は一時的で症状もないことが多く、自然に消えることがほとんどです。

HPVの感染が長期間持続すると、その一部が、数年～十数年後に子宮頸がんを発症させると考えられています。



### 子宮頸がん予防のためのワクチン

●ヒトパピローマウイルス(HPV)感染症の予防ワクチンは、子宮頸がん全体の50～70%の原因とされる2種類(16型、18型)のウイルスなどに対して、持続感染等の予防効果があると報告されています。

●ワクチンには、すでに感染しているHPVを排除したり、子宮頸がんの進行を遅らせたりする効果はありません。感染する前に接種するのが最も効果的です。

●ワクチンだけで、子宮頸がんを完全に予防できるわけではありません。ワクチンを接種した場合も子宮頸がん検診を定期的に受診して、早期発見を心がけることが大切です。

●平成25年度より、本ワクチンは中学生女子を主な対象とする、予防接種法に基づく定期予防接種となっています。詳しくは、お住まいの区市町村にお問い合わせください。